

- 問1 弥生時代に作られた青銅器の一種で、釣鐘のような形をしており、表面に流水紋や当時の狩猟・農耕の様子が描かれていることがある、稲作の祭りなどに使われたとされる遺物を何というか名称を答えなさい。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 銅鐸 2. 銅鏡 3. 埴輪 4. 勾玉
- 問2 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏（ぎ）へ使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号や金印、多数の銅鏡を授かった政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 魏と共同で朝鮮半島の高句麗を攻撃し、領土を拡大するための軍事同盟を結ぶため 2. 魏の後ろ盾を得ることで自らの権威を高め、国内の統治や他国との関係を有利に進めるため 3. 魏の優れた律令制度をそのまま日本に導入し、中央集権国家をいち早く確立するため 4. 魏の強力な軍事力を日本に直接呼び寄せ、九州地方の反乱勢力を武力で鎮圧するため
- 問3 3世紀の日本において、邪馬台国の女王であった卑弥呼は、中国の北部に位置した「魏」という国に使節を送りました。その際、魏の皇帝から授けられた称号として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2021年 香川県公立入試 類似)
1. 親魏倭王 2. 征夷大將軍 3. 遣隋使 4. 漢委奴国王
- 問4 弥生時代に大陸から稲作の技術とともに伝わった金属器のうち、銅とスズの合金で作られ、主に豊作を祈るなどの祭祀（祭り）の儀式に用いられた道具の総称を何というか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 青銅器 2. 土器 3. 打製石器 4. 鉄器
- 問5 弥生時代、稲作が西日本から東日本へと普及して食糧の蓄えができるようになると、各地で土地や水をめぐる争いが起こり、小さな国々が誕生しました。こうした中、倭の奴国の王が中国の王朝へ使いを送った目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 広島県公立入試 類似)
1. 巨大な前方後円墳を築造するための最新技術を導入し、日本列島全体の統一を早急に成し遂げようとした。 2. 鉄製農具や須恵器の製作技術を独占し、縄文時代から続く狩猟・採集の生活をより豊かにしようとした。 3. 中国の後漢の光武帝から金印を授かることで、自らの支配の正当性を背景に権力を強めようとした。 4. 土偶を用いた独自の祭祀を中国に認めてもらうことで、大陸での宗教的な影響力を拡大しようとした。
- 問6 中国の歴史書である『魏志倭人伝』は、日本の古代社会を知る上で非常に重要な史料です。この書物において、日本の「道路」に関する最初の記録が残されている背景を考慮し、当時の社会状況の説明として適切なものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
1. 鑑真が仏教を広めるために日本を訪れた際、僧侶が移動するための専用の道路が全国に整備されたことが記されている。 2. 律令国家の仕組みが整い、地方と都を結ぶために全国規模で「駅制」という道路網が完成した様子が記されている。 3. 卑弥呼が邪馬台国の女王として約30の国を統治しており、当時の日本の様子や交通に関する初期の状況が記されている。 4. 墾田永年私財法によって開墾された土地へ農民が移動するため、政府が初めて本格的な道路建設に着手したことが記されている。
- 問7 紀元1世紀、倭の奴国の王が大陸へ使節を送り、後漢の皇帝から授けられたとされる金印について、その事実が記述されている中国の歴史書として正しいものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 「宋書」倭国伝 2. 「隋書」倭国伝 3. 「魏志」倭人伝 4. 「後漢書」東夷伝
- 問8 弥生時代に本格的に始まった稲作において、収穫の際に用いられた石包丁の使用法について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 収穫した後の脱穀を行うために用いられた 2. 土を掘り返して苗を植えるために用いられた 3. 稲を根元から刈り取るために用いられた 4. 稲の穂の部分を摘み取るために用いられた
- 問9 紀元前4世紀頃から稲作が普及し始めた弥生時代において、近畿地方を中心に多く発見されている、釣鐘のような形をした代表的な青銅器の名称は何ですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 埴輪 2. 前方後円墳 3. 銅鐸 4. 勾玉
- 問10 1世紀頃の東アジアにおいて、中国の皇帝が周辺国の支配者に対して「みつぎ物」の見返りとして「称号」や「印」などを与える国際秩序がありました。倭の王が中国へ使いを送った歴史的背景や目的として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 仏教などの新しい宗教を中国から正式に導入し、国を治めるための思想として活用しようとした。 2. 朝鮮半島北部の小国として、中国の強力な武力による直接支配から逃れるための許可を求めた。 3. 中国と対等な立場で外交関係を築き、軍事的な同盟を結ぶことで領土を拡大しようとした。 4. 中国の皇帝に臣下として認められることで、自らの支配者としての地位を国内や周辺に示そうとした。
- 問11 ある博物館の「原始・古代」の展示室にて、3世紀の日本の様子を調査するために注目すべき史料や展示品の説明として、正しいものはどれですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. 飛鳥時代の政治状況を示す「古代の戸籍」の断片と、仏教伝来の様子を描いた壁画の模写。 2. 中国の歴史書『魏志倭人伝』の記述と、邪馬台国の女王が魏の皇帝から授かったとされる多数の銅鏡。 3. 志賀島で発見された「漢委奴国王」の金印と、当時の北九州の王が後漢へ朝貢したことを示す記述。 4. 日本最古の貨幣とされる富本銭と、大宰府跡から出土した当時の外交官の記録。
- 問12 弥生時代に稲作が普及すると、土地や水の利用をめぐる集団間の争いが起こるようになりました。こうした外敵の攻撃から集落を守るために、周囲に深い堀や柵を巡らせた当時の集落の形態を何といいますか。 (2021年 愛知県公立入試 類似)
1. 高床倉庫 2. 竪穴住居 3. 環濠集落 4. 高地性集落
- 問13 弥生時代の3世紀、邪馬台国の卑弥呼が中国の「魏」に対して使いを送った目的と、その結果として当時の国際情勢から読み取れる背景として最も適切なものはどれか。 (2017年 東京都公立入試 類似)
1. 中国の皇帝から倭の王としての正当性を認められることで、国内の諸勢力に対する支配力を強化しようとした。 2. 全国的な徴税制度である大宝律令を確立させるために、中国から法制度の専門家を招いて政治改革を推進した。 3. 隋の皇帝に対して対等な立場での外交を求め、小野妹子を派遣して「日出づる処の天子」という国書を届けさせた。 4. 日宋貿易を円滑に進めるために、大輪田泊のような港湾施設を整備して中国との経済的な結びつきを重視した。